

Partnership Nursing System とは？

PNSを正しく理解して実践するために…
PNSの概要を説明していきます

パートナーシップとは？

相互の特性の認識・尊重を基礎として、相互に対等関係のもとで、協調・協働していくこと。つまり両者が互いに対等の当事者であることを認め合うこと。 総務省2000年

パートナーシップを看護に活かすとは？

互いの特性・能力を活かし、資源（知識・技術・考え方・業務方法・情報等）の共有を行い、相談し合うことで、新しい考えやアイデアが生まれる

つまり…

シナジー（相乗）効果

を期待しています

（ $1+1=2 \rightarrow 4 \rightarrow 10 \dots$ にもなる可能性）

Partnership Nursing System: PNSとは？

【定義】

看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的に、副看護師長等をコアとしたグループの中で、互いがよきパートナーとして、対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し協力し合って、日々の看護ケアをはじめ、委員会活動、病棟内の係の仕事に至るまで、1年間を通じて活動し、その成果と責任を共有する看護体制



パートナーシップを
看護に活かしたのが
PNSです

パートナーシップの成功要件

| 成功要件 | ポイント |
|----------------|------------------------------------|
| 違いを生かす | 特性や能力、多様な視点、新しいアイデアが生まれシナジー効果を発動する |
| 対等・平等 | 対等性は主体性を引き出す |
| 活動目的の合意と共有化 | 具体的に合意するために、きっちりと協議する |
| 信頼感と緊張感のある関係 | 緊張感のない馴れ合いは、互いの違いを活かしくシナジー効果が薄れる |
| 特性や能力を生かした役割分担 | 特性や能力を生かした役割分担をすることで、互いがより積極的に関れる |
| 情報開示 | 互いが得た些細な情報もきっちりと伝え、共有する |

パートナーシップに必要な3要素

尊重

- ・ 価値あるもの、尊いものとして大切に扱うこと、重んじること

信頼

- ・ 信じて頼りにすること、頼りになると信じること

慮る

- ・ 周囲の状況をよく考えること、思いをめぐらせること
- ・ 相手を思いやる、気配る、押し量ること

パートナーシップ・マインドの3つの心（心のもち様）

他人の思惑や評価を気にせず、
事の良し悪しの判断基準を心に
持ち、同時に自分の心身を適度
に制御する術を会得すること
➡依存は×

自立・自
助の心

与える心

相手に求める心を捨て、**与える心**
を育てることからスタートするこ
とが大切である
➡まずは自身の価値を提供する

複眼の
心

相手の気持ちを慮る力を常にもち、**様々**
な視点からものを見ることを心がけること
➡自分の視点だけでなく、相手の視点
にも立つ

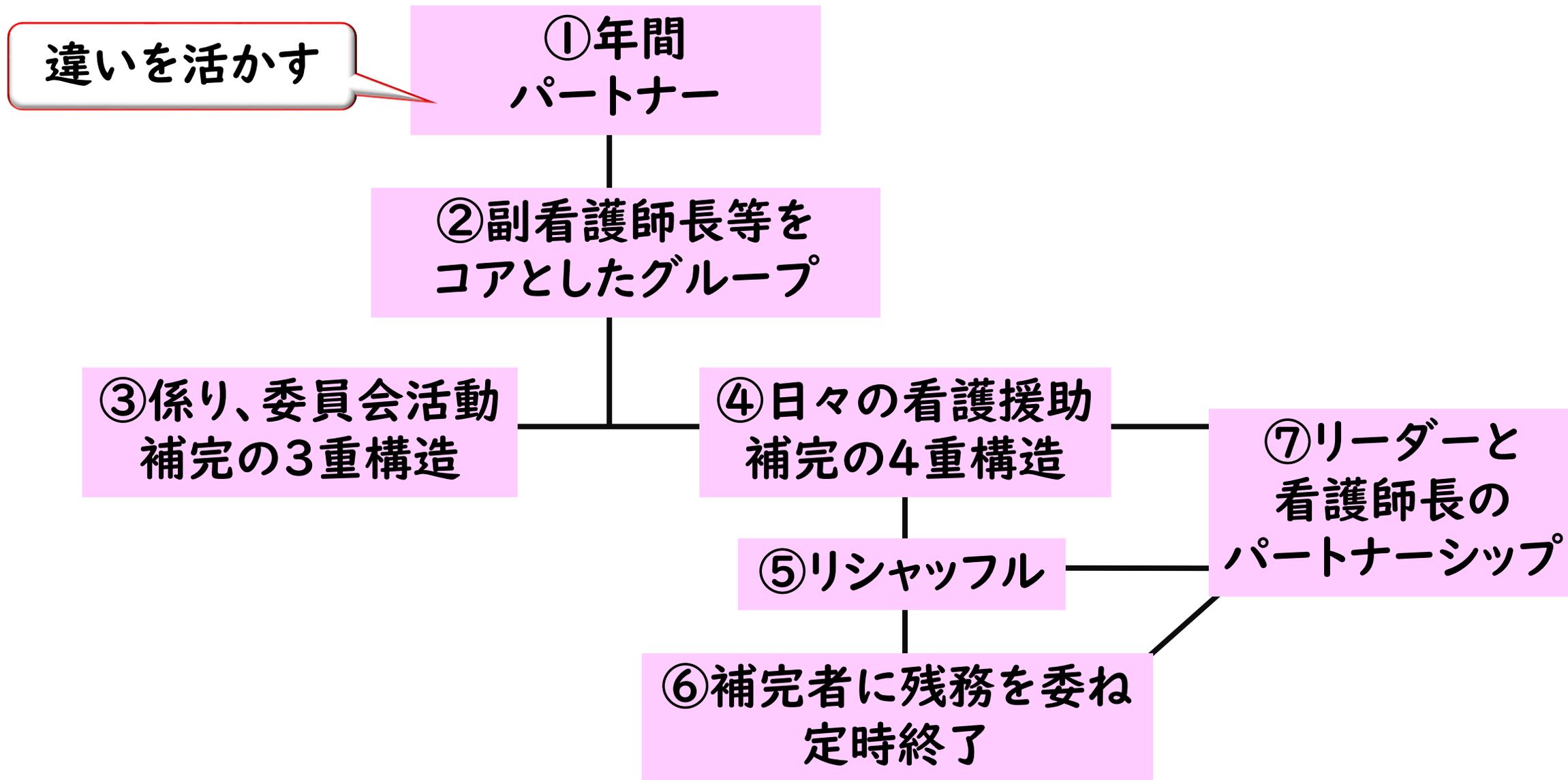
PNSは、PNSの基本を徹底するとともに、

- ・パートナーシップの成功要件**
- ・パートナーシップに必要な3要素**
- ・パートナーシップ・マインドの3つの心**

を意識して行動することが大切です。

これらは効果的なパートナーシップによるシナジー効果の発現を促し、結果、PNSの成果に影響すると考えています。

PNSの基本「仕組み」



① 1年間協働するパートナーの選定

年度初めに、勤務者以外のスタッフが集合し、自薦・他薦を交えて1年間をともにするパートナーを選びます

違いを生かす ことが重要です

違いの例

経験値

考え方

働き方

趣味

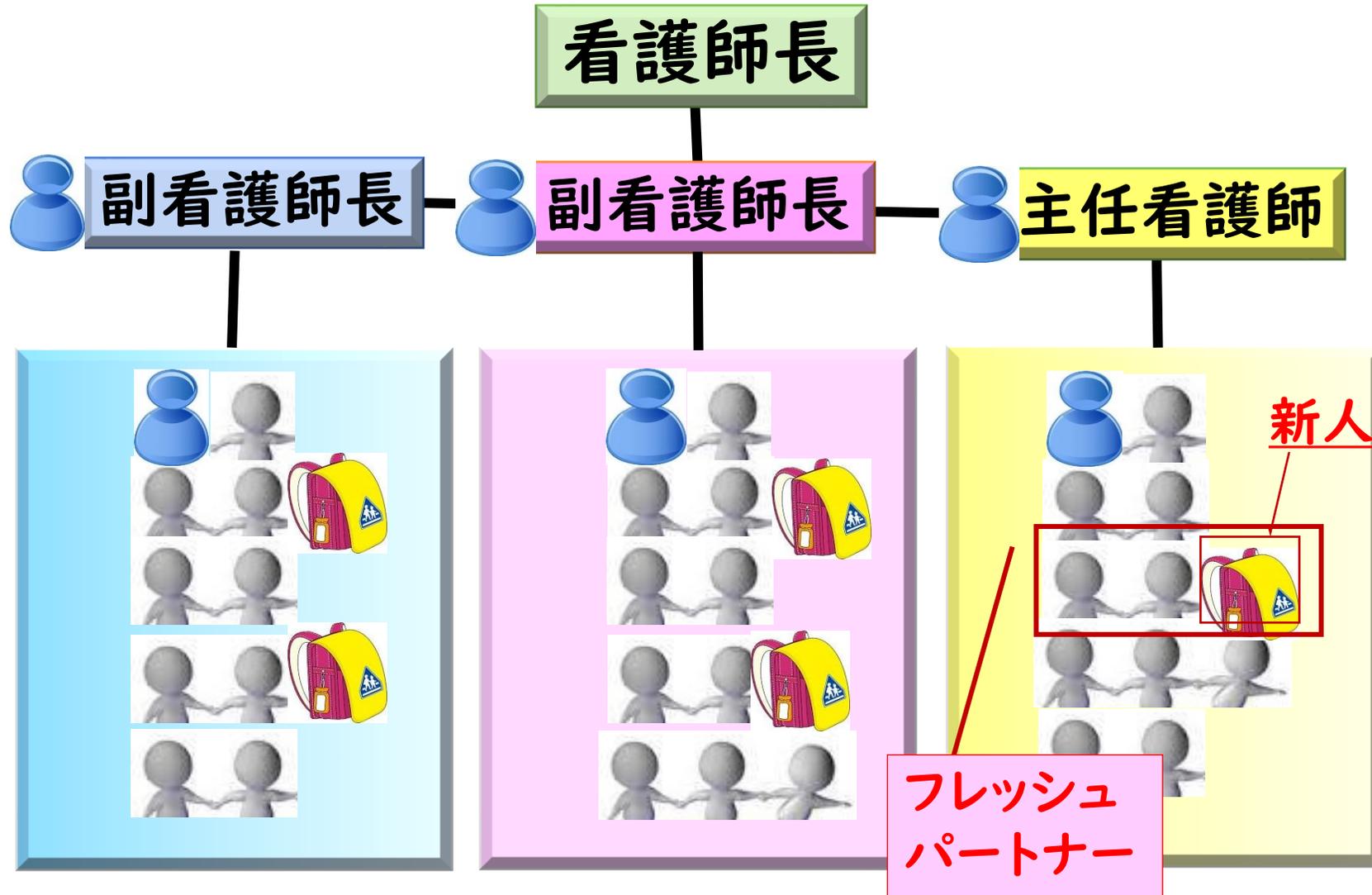
パーソナリティ

- ▶ あこがれは違いではありません
- ▶ 残るのは嫌われているからではありません

②副師長（または相当する者）をコアとしたグループ

いくつかのパートナーが集まり、グループをつくります。

新人さんは、パートナーに3人目として加わり、それをフレッシュパートナーとよんでいます。



補完性の原理とは？

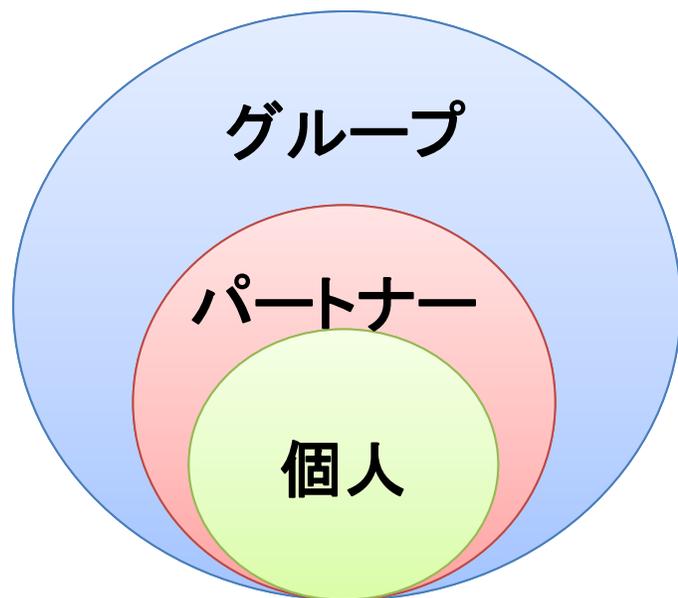
1. 個人がらぎで (いる) 時は個人で解決する
2. 個人ができない (いない) 時は
まずパートナーが補完する
3. パートナーができない (いない) 時は
共属するグループが補完する
4. 共属するグループが補完できない (いない)
時は、他のグループが補完する



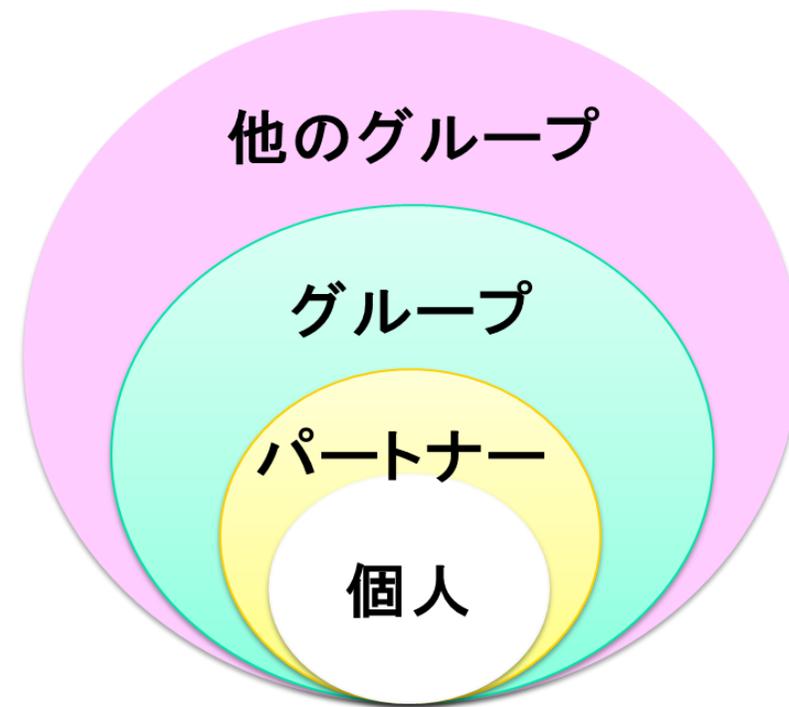
③補完の3重構造に基づき副看護師長等をコアとしたグループ活動を行います

年間を通してお互いの委員会活動や病棟内の係の仕事を補完・協力しながらグループ活動を行います

フレッシュパートナーが中心となり、新人と関わります



④補完の4重構造に基づき日々のペアを組み、患者を受け持ちます



⑥ 日勤業務の補完とは？

努力したが、勤務時間内に達成できないと判断した業務を補完者に委託します。

補完者は、日勤者の残務を引き受け、日勤者を定時に終了させるようにします。

重要なのは、誰がどれだけ残るかを決め、業務における責任の所在を明確にすることです。そうすることで、全員がダラダラと残ることがなくなり、WLBにつながります。

⑦日々のリーダーと看護師長のパートナーシップ

ポイントは、「人をその気にさせて動かす」です。

その日の勤務者を余すことなく活用し、その日1日の業務が安心・安全で確実に遂行できるように、リーダーは司令塔として看護師長と共に効率よく業務運用していけるように業務管理、時間管理を行います。

看護師長とパートナーとなり、患者ラウンド、病棟管理、他部門との調整などを共有しながらマネジメントを行います。

⑧PNSにおける看護師長（代行）の役割

看護師長は、副看護師長に、グループのコアとしての活動、つまり、グループ（組織）の運用管理を経験する中で、前方支援者として生き生きとダイナミックな業務管理をしてもらうよう働きかけます。

「ダイナミックな業務管理」とは、組織活動の考え方に関する「遠慮」を排除して活動することを意味しています。そうすることで、拘束感がなくなり発想が豊かになると、自ずとモチベーションがアップし、チャレンジ精神が芽生え、仕事への愛着が増します。

こうして、グループ活動を通して組織を統括するマネジメント能力やスタッフ育成能力の向上を図ると共に、グループ間の競争意識・意欲を活かしてグループの活性化を図ります。

⑨PNSにおける副看護師長・主任の役割

グループのコアとして、①グループを統率し、活動を支援し、②定めた目標を達成・発展していけるように導き、③共属するスタッフのよき相談相手になり、活動を支援します。

ここでいう「支援」とは「PNS 補完の3重構造」による補完を指し、支援する際には、「PNS 補完の3重構造」を活用します。

この支援体制がうまく働き、委員会や系の活動の活性化、個々の成長・グループの成長などにつながる効果的なグループメンバーでの協働ができるように統率します。

そして、看護師長と共に、病棟全体の活性化を図ります。